

ボランティア「3つのあい」であいふれあいたすけあい

東日本大震災被災地訪問視察ツアー報告

震災発災7年目を迎え、ボランティア先を訪問視察し被災地の今を見据えボランティア活動に生かすことを目的に、平成30年11月20日(火)より11月22日(木)にかけて、東日本大震災被災地訪問視察ツアーを実施しました。



まずは震災遺構旧大川小学校を見学しました。想定を超える高さの津波により、大きな被害が出た大川小学校。この重く辛い教訓を受けて、考え得るリスクを深く追い、普段からどのような対応をするか、考えていく必要を改めて感じました。

教訓として、マニュアルにはとらわれず、津波の恐ろしさを考え、率先してより高い

場所へより早く、そして周囲の方々を巻き込んで避難する。日頃からこの場所でも逃げ道を考えておく訓練をし、ハザードマップより高い津波が来ると想定しておくことの重要性を再確認しました。

その後、震災後いち早く高台に復旧したキャピタルホテルで昼食をとり、一本松茶屋から語り部の新沼岳志氏による、陸前高田の復興の様子のレストランを受けました。



町の中心部にショッピングセンターが出来たが、高台に移ったお年寄りなどは、なかなか町まで買物には出にくく買物難民と化している。高齢化により復旧後はお年寄りに住みにくい街になりつつあるといった、復興の陰に隠れた話もうかがうことができました。

最終日は相馬観光協会復興

支援員2名(井島氏・遠藤氏)から復興にかけてのレクチャーを受けました。



相馬市は被災からの復旧が早く、災害に対する考えがとても先進的でした。相馬市では防災備蓄倉庫などを見学者に向け開放しており、倉庫内をくまなく案内レクチャーしていただきました。たくさん毛布や食料が電動式移動ラックに保管しており、このような防災準備が各自治体で広がり、被災地への支援、受援をお互いに行える関係でありたいと感じました。



今回のツアーを終え、改めて状況を実際に見て感じるこの必要性を感じ、被災地への支援を通して、私たちとともに、社協、行政の方も、考えていただければと思います。

災害にも心強い赤い羽根共同募金

災害大国日本では、いつ何時大きな災害に見舞われるかわかりません。2018年も災害の多い年でした。

赤い羽根共同募金は福祉活動以外にも、募金の3%が災害ボランティアセンターの運営資金など、被災地のボランティア活動を支援するための準備金として積み立てられています。また被災地で住民同士が支え合う活動も支援し、交流やイベントなども実施されています。

誰もが災害の当事者になる可能性があり、募金は巡り巡って自分たちを支えることになりまます。備えとしての募金をしてみませんか。(H.O.)

あったかハート交流会 ~ともに手をとりあって~

12月1日、市総合福祉会館5階ホールは温かな雰囲気にも包まれていた。「障がいのある人もない人も障がいについて一緒に考えてみませんか」とのテーマで、横須賀市ボランティア連絡協議会の主催による「あったかハート交流会」が開かれた。

会場は視覚・聴覚等の障がいを持った方も、健常者も集まり、「コ」の字型に並べられたテーブルに座り、話を気軽に聞けるように設定されていた。



今回の体験発表では、大胡田誠・亜矢子ご夫妻による「視覚障害を乗り越えて」との講演とピアノ演奏が行われた。



ご主人の誠さんは、小学6年生の時に弱視だった目が完全に失明してしまい、小さな頃からコンプレックスから努力に努力を重ね、司法試験を4度も不合格になりながらも「人の役に立ちたい」の一心から、今では日本で3人目の全盲の弁護士となりました。

一方、奥様の亜矢子さんも全盲のソプラノ歌手です。幼い頃から音の出る物に興味を示し、お母さんがピアノを習わせてくれました。

誠さんの講演、亜矢子さんのピアノ伴奏とソプラノの歌声、続いて誠さんのギター演奏に合わせた二人の共演。「グラーツィエ（ありがとう）」には感動で涙腺が緩んでしまった。



その他の体験発表では、障がいのある妹を支えて、現在施設の支援員として活躍されている女性の体験談。身内に障がい者がいることに対する周囲の目、中学時代に進路を決める時、出会った先生や仲間の影響で、福祉科のある高校に入学し、そこで体験から現在に至っている等のご苦労を話された。

続いて「県福祉子どもみらい局福祉部」による会場一体となったの手話講習。手話が必要としている方が居ることを理解しよう、テキストを使って学んだ。

最後は学校法人・和光学院あさひ幼稚園児による元気いっぱいの歌声で閉会となった。

(H・Y)

アクティブボラのすすめ 27

人口の10%が聴覚障がい者といわれる。その内の手話を言語とする人たちへの支援、また共に活動するために手話を身につけた。現在、市聴覚障害者協会と共に市内の小・中・高校の総合学習で「聴覚障がいについて」「手話の普及」のボランティア活動をしている。

3年前から、他のボランティアの方々と関わるようになってきた。他の障がいや活動について知ることがなかった私にとって、いきなり視野が広がった。お互いに知識や経験の情報を交換しあい理解する。活動の範囲が広がって、自身が知らなかった自分を知ることができた。

ボランティアの仲間もそれを認めてくれ、信頼が深まる。「井の中の蛙」でいてはいけない。ボランティア活動は、ひとりもふた回りも私を成長させてくれた。

(M・K)

ボランティア連絡協議会から

☆☆あらたな時代へ春の躍動☆☆

『ボラ連キックオフフェスタ』準備が進んでいます。

3月2日は「ソウフク」へ集合！

市内で活躍しているボランティア団体が勢揃いします！センターステージでは歌・踊り・演奏など音楽があふれる中、各団体の活動紹介コーナーでは体験展示も多く、さまざまなボランティア活動に触れてみる良い機会です。

また、地域作業所の製作による物品販売コーナーや飲食コーナーなど、楽しい催しとともに、様々な方たちとの出会いがあり時間の経つのも忘れるイベントです。

みなさまお誘い合わせの上、会場にお越しください。お待ちしております。

日時：3月2日（土）10:10～15:30

場所：総合福祉会館 5階全フロア

主催：横須賀市ボランティア連絡協議会

後援：横須賀市・横須賀市教育委員会・横須賀市社会福祉協議会

障害者週間キャンペーンのご報告

昨年の障害者週間【11月29（木）からの一週間】障がい（者）を知りともに歩むさまざまなイベントが行われました。

①あったかハート交流会 12月1日（土）総合福祉会館

会場は満員の盛況でした。

②ショッパーズプラザ2階特設ステージ 12月2日（日）

障がい者団体の素晴らしいパフォーマンスで盛り上がりました。

③障がい者団体の活動紹介や展示と販売 イオン2階センターモール（障害者週間期間中）

各団体の紹介や手造り品の物品販売、相談コーナー等を設けました。

たくさんの皆様のご声援ご支援をいただきました。心から感謝申し上げます。

登録ボランティア団体紹介 22

「車椅子ダンスよこすか（矢車草）」

ふれあいの楽しさ

「私、若い頃、社交ダンスを習っていたの」「どこで?」「諏訪神社の前にあった教室」こんな会話をしながらお互いの手を握り合いリズムに乗って車椅子を押したり、引いたり和気あいあいのうちに車椅子ダンスを楽しむ老人ホームでの一風景です。腕の力が衰えた人には、車椅子に補助具を取り付けダンスの楽しさを共有します。特に、ダンスのステップは使いませんので、ダンスが未経験であって

もこのボランティア活動に参加できます。

初めて老人ホームを慰問した時、ダンスミュージックを流したところ、入所者の皆さんのシラッとした顔を未だに覚えています。

次回から、戦後流行った歌謡曲や演歌を流したところ、ここやかになり、中には歌いだす人も。特に「青い山脈」が大変喜ばれます。「〇〇ちゃん的笑顔を始めて見た」という介護士さんもいて、音楽が持つ不思議な力を体験しました。「次の曲は、

赤いランブの終列車、歌手は春日八郎です」「先生、私まだ生まれていません」ドゥーと笑いの渦が起ります。私より若い人がホームのお世話になって

ることを知り、私も老人であつたと、はっと我に返ります。

平成7年3月11日、阪神淡路大震災が発生し、多くのボランティアが全国各地から駆けつけ活動しました。この年をボランティア元年と称されてから23年、当時若かった当会の会員も高齢化し、一人欠け、二人欠け徐々に会員数も減少し心配の種

となっています。

こんなボランティア活動に参加してみたいと思う方は是非ご連絡ください。心からお待ちしています。

連絡先：車椅子ダンスよこすか（矢車草）代表 有川 046-842-5950





ボランティアセンターからのお知らせ



申し込み・問い合わせはボランティアセンターへ

来年度の予定

布おもちゃ子育てサロン ポケッ
トひろば

日時：各月の第2金曜日（8月・1月
はお休み）10時～12時

場所：総合福祉会館5階教養活動室（和
室）

内容：0歳～6歳（未就学児）の子育
て中の親子を対象としたサロンです。

※場所は変更になる場合がありますの
で、1階の掲示板でご確認ください。

おもちゃの病院

日時：各月の第1土曜日（5月・1月
は第2土曜日）10時～12時

※6月は2日（日）のふれあいフェス
ティバル内での開催となります。

場所：総合福祉会館4階第1活動室

内容：壊れてしまったおもちゃを持
ちください。可能な範囲で修理いたし
ます。修理代は無料ですが、部品交換

の場合は実費分をいただきます。電池
で動くおもちゃを持参する場合は、新
しい電池をお持ちください。

貸出棚受付

第4活動室の貸出棚の平成31年度前期
分の申し込みを受け付けます。

貸出期間：4月1日～9月30日

受付期間：3月4日～3月11日

※応募用紙は窓口で配布します。

※応募数が多かった場合は抽選にな
ります。

ありがとうございます

朝日生命保険相互会社様より、車椅子のご寄付をいただきました。いただいた車椅子は、ボランティアセンターで、市民の方に向け貸し出しを行っています。



（株）東芝社会貢献様、ニコン横須賀製作所様より、今年もカレンダーのご寄付をいただきました。ボランティアセンター窓口のほか、老人福祉センターなどで配布させていただきました。



ボランティア募集

ふれあいフェスティバル

活動日：6月2日（日）9時～16時

活動場所：総合福祉会館

活動内容：会場案内、エレベーター内の誘導、クイズラリーの景品配布、写真撮影、館内美化、着ぐるみ、入場者数のカウント

横須賀交響楽団保育

活動日：毎週土曜日17時30分～20時30分

活動場所：総合福祉会館5階教養活動室（和室）

活動内容：横須賀交響楽団が練習している間の、団員のお子様の見守りになります。お子様の年齢は1歳～小学生です。

交通費：千円（往復の交通費が千円を超える場合は相談）

話相手・日中活動手伝い

活動内容：よこすかボランティアセンターでは、障がいのある方のお話し相手や、日中活動の手伝いをしているいただけるボランティアを募集しています。

※ボランティア募集に関してのお申込み、お問合せはよこすかボランティアセンターまでお願いいたします。

連絡先：よこすかボランティアセンター 046-821-1303

編集後記

私が「社会福祉法人みなと舎ゆう」の後援会に入れていただいてから早くも20年くらいになります。「みなと舎ゆう」は重症心身障がい児の施設です。夫の親戚が施設を立ち上げたのがきっかけでした。何かお手伝いをとっていたのですが、場所が芦名で我が家からは一寸遠かったし、当時は自分自身の習い事が精一杯で何もお手伝いできなくて心苦しく思っておりまして。

一昨年やっと自由な時間が取れるようになり「ボランティアセンター」に登録しました。

早速、キックオフフェスタ、岩戸擁護学校での運動会、保育ボランティアスキルアップ勉強会、肢体不自由児者運動会、タットン会等参加しましたが、お手伝いそっちのけで私自身が喜んでしまいました。タットン会の球拾い楽しかったなあ。

老いの手習いよろしく認知症予防もかねて体と足を使って各種講演会にも極力出席して見分を深めたりして頑張っています。現在編集委員をしておりますがスタッフの皆様には沢山ご迷惑をかけているのではと案じております。

「ボランティアに登録して良かった」が感想です。（K・ー）